

2018年6月26日（火）

4年生「武蔵野第一浄水場見学」

午後から武蔵野第一浄水場【学校の4階から東側に見える、円形配水池（クリーム色とエンジ色の縦縞模様で高さ20mの建物を目ざして】の見学に行きました。

水道局の方から「武蔵野市の水は、80%が深井戸（地下約250m）からくみ上げられている地下水、20%が東京都から買っている川の水です。」と説明があり、市内に27本ある井戸のうち、第一浄水場では15本の井戸から集められた地下水を、ほんの少しの薬品で消毒して飲み水にしていることを知りました。武蔵野中央通りを境に、東側が第一浄水場からの水、西側が桜堤にある第二浄水場から水が送られていることも知りました。

（よって中央通りの西側にある本校の水は、第二浄水場から送られていることになります。）
また、東京都の中では、羽村市と昭島市は100%地下水であることも教えていただきました。

その後、グループに分かれて、監視操作室、矩形配水池、非常用発電機装置、配水ポンプ、除鉄・除マンガン装置などの施設を見学し、冷たくておいしい水を味わわせていただきました。

配水池には7,300トンの水（25mプールの約20杯分）が入っているようです。さらに配水池の上には、約60cmの土と芝生が敷き詰められていて、水があたたまりにくくしていることも知りました。

おみやげにはペットボトル入りの『武蔵野市の蛇口からおいしい水』をいただきました。
わたしたちの生活に欠かせない「水」。

おいしい水がいつも安全に飲めるように日々努力をしてくださっている浄水場の皆様、お忙しい中、丁寧な説明、案内を本当にありがとうございました。

